

“Using TPM with IoT by David Grawrock” TCG/JRFによる要約

December 2015

アジェンダ

- TPM の基本機能の復習
- IoT 環境での必要要件
- それらを満たすもの=TPM

TPM の基本機能の復習

- Root of Trust for Reporting (RTR)
認証(Attestation)のために必須
- Root of Trust for Storage (RTS)
保護された記憶機構エリア
- Platform adds Root of Trust for Measurement (RTM)
認証(Attestation)と保護された記憶機構エリアのために必須
- Isolated execution environment
暗号鍵のハンドリングする環境を隔離させる機能

IoTでの要件項目

“End to End security”の担保は？

What device are you (どのようなデバイス?)

- デバイスの属性に関する情報も重要

What is the software stack (どんなソフトウェアが動作?)

- その実行環境は？

Is there protected storage on the device (保護された記憶機構?)

- 最低でも鍵で管理されている？

Is there a Trusted Execution Environment (信頼できる実行環境?)

- ソフトウェア攻撃(もしくはハードウェア攻撃からも)に対抗

Questions apply to any device in the ecosystem



TPM機能の実装

- 必要に応じた形状・サイズで提供可能
 - 半導体のチップ
 - 組み込みシステムとして
 - ファームウェアでの実装
 - その他
- 要求に応じた機能を提供
 - 応用プラットフォームに応じた機能
 - センサー、ゲートウェイ、ネットワーク、クラウド
 - ユースケースに応じた機能

Thank you 😊